

「株式会社サンライズファーム西条」設立

プロジェクトを進めていくため、このたびの調印と併せて、住友化学、西条産業情報支援センター、JA西条の共同出資により、新会社「サンライズファーム西条」が設立されました。

この新会社を中心となり、先進技術を取り入れた新しい農業ビジネスモデルの構築をめざして、11月から市内で実証実験が進められます。

新会社の概要

- 農場の名称 株式会社サンライズファーム西条
- 農場の場所 愛媛県西条市神拝甲
- 農場の規模 栽培面積 約4.8ヘクタール
- 事業内容 野菜の生産、加工、販売
- 農産物の生産開始予定 平成23年11月

「西条農業革新都市」

当市で実施されるプロジェクトは、参加企業を持つ先進技術やマーケティング力などを農業に活用して、地域農業者との協業により、農業の高度化や環境負荷の低い農業生産の実現、農産物流通の革新を図ろうとするものです。

市内の農地(約4.8ヘクタール)での露地栽培を通じて、GPS(全地球測位システム)を利用した農機の自動運転、先端のICT(情報通信技術)利用による配送等の実証実験が行われる予定です。

期待されるプロジェクトの効果

「西条農業革新都市」地域協議会は、市内JAや農業委員会、地元企業等がメンバーとなり、本年6月に設置されました。

協議会では、国が新設した総合特区制度における区域指定をめざし、プロジェクト実施のために必要な規制緩和策や、サンライズファーム西条と地元農業者の関係など、地域と企業が連携して行う新しい農業モデルの構築について、それぞれの視点から協議を重ねています。このプロジェクトを通じて、技術

力や資金力を持つ民間企業の農業参入や、農業の生産・流通両面での高度化・効率化が促進され、収益性の高い農業の実現、さらには地域農業の活性化につながる事が期待されます。当市も関係機関との連携のもと、地域との合意形成を図りながら、プロジェクトの推進に全力を挙げて取り組んでいきます。



この地から未来の農業が始まる



8月に開催された第3回地域協議会

わたしがつくる理想のまち 未来都市モデルプロジェクト

未来都市モデルプロジェクトとは、民間主導による経済成長モデルを構築することを目的に、日本経済団体連合会が全国11の都市で実施しようとするものです。

環境、医療・介護、交通などの各分野での、先進的な技術やサービスのの実証実験を通じて、我が国の「技術力」と「人材力」に磨きをかけ、世界に先駆けて多様なイノベーション(革新)を創出することをめざしています。

先進農業に関するプロジェクトでは、当市が全国で唯一、実証実験都市に選ばれています。

1. 岩手南部循環型バイオマス都市
2. 福島医療ケアサービス都市
3. 日立市スマート工業都市
4. 柏の葉キャンパスシティ
5. 藤沢環境創造都市
6. 豊田次世代エネルギー・モビリティ都市
7. 京都e-BUSネットワーク都市
8. 山口アクティブ・エイジングシティ
9. 西条農業革新都市
10. 北九州アジア戦略・環境拠点都市
11. 沖縄物流拠点都市